

◆日根野聖子 選

愛媛CATVより、「八木健のCATV俳句」という句会番組が放送されている。滑稽俳句協会のホームページで、これまでの放送は全てご覧いただけるが、その番組内で御意見番的な存在としてレギュラー出演されているのが小西昭夫先生。

小西先生は、六年前から松山市内の画廊で、俳句仲間と「遊五人展」という、俳句とアートを組み合わせたアート展を毎年、開催されている。今年五月の展示期間中には、朗読の会を催され、その時に披露された小西先生の朗読作品をご紹介します。

「チンピラ（改訂版）」 小西昭夫

この年になっても成長を続けています。

龍天に昇る鼻毛の伸びやすし

男は外に出ると七人の敵がいるそうですが、女の敵は何人いるのでしょうか。

七人と犬一匹のさくらかな

こんな人もいなくなりました。

立小便している冬の男かな

目刺しを観察しました。

食わんとす目刺しの頬のこけており

ぼくは走っていたのですが。

マラソンの歩く人にも抜かれけり

マラソンは確かに人生であります。

マラソンの最後の坂は歩きけり

高浜虚子には「去年今年貫く棒のごときもの」という有名な句があります。

去年今年貫いてあるゴミの山

渥美清さん演じた寅さんは、「とらや」へ帰って、騒動を起こして旅にでますが、旅からの便りには、必ず「深く反省の日々を過ごしております」と書かれています。

恥ずかしきことの数かずチューリップ

「変なところ」とはどんなところでしょう。

初夢の変なところで目覚めけり

たぶん、ぼくの朗読のようなものです。

また蛇に足つけている文化の日

蠨螂と言うのは、カマキリのことです。

蠨螂や相手に不足ありにけり

蠨螂よりは手強い虫であります。

毛虫の毛みな真直ぐでありにけり

この頃は穿く人も少なくなりました。

マントヒヒにはステテコを穿かせたし

ぼくは愛妻家であります。

空港に妻を送って夏休み

この人もきっと愛妻家です。

恐妻家刑事コロンボなめくじり

戦前には不敬罪というのがありましたが、ぼくに不敬の気持ちはありません。

生ゴミの日なり天皇誕生日

「毛」と言はれて、思い浮かぶのはどこの「毛」でしょう。

雪だるま毛はつけられておらぬなり

ロダンの「考える人」を俳句にしてみました。

排泄の姿勢で春を惜しみけり

お風呂に浮いているものを想像してください。

冬至の湯なんにも浮いておらぬなり

結論でございます。

今もまだチンピラのぼく桜咲く

小西昭夫先生は、一九五四年、愛媛県生まれ。愛媛大学に入学し、大学の俳句会がなくなってしまいそうだった時に、先輩に誘われて俳句を始める。父や叔父叔母も俳句を作っていたので、俳句に対して抵抗感がなかった。

県立高校に教員として勤務しながら、一九九五年（平成七年）年より愛媛新聞の俳壇選者となる。同年、編集長として「子規新報」を発行。

現在、「船団」会員。句集に『花綵列島』、『ペリカンと駱駝』、『小西昭夫句集』。歌集に『煙草吸うとき』。その他『金曜日の朝』、『虚子百句』、坪内稔典氏との共編『子規百句』等がある。

小西先生にとって俳句とは、「時に自分の世界の確認であり、時に癒しでもあるが、醍醐味は、時に思いもかけない新しい自分に出会える」ものとのことである。今の俳壇の問題として、多くの俳人が自分の俳句や自分の結社の俳人の句しか読んでいないことを指摘される。

【小西昭夫先生の代表句】

まりちゃんもお嫁にいつて蛍の夜

満開の桜のうしろから抱けり

ひたすらに便器を磨く秋の暮

男にも乳首があつて桜咲く

ビール飲む腰を痛めたペリカんと

臆病なぼく大胆な秋の蠅